

田原臨海企業懇話会の防災対策への取組経過

田原市では、自然災害やテロ攻撃等の緊急事態に遭遇した場合において、事業者の損害を最小限にとどめつつ、事業の継続あるいは早期復旧を可能とするために、市及び事業者（田原臨海企業懇話会）とが連携して防災対策を推進している。

【市と臨海企業懇話会との企業防災活動の記録】

- H17.4 臨海企業への情報伝達用にデジタル地域防災無線端末を配置
◎愛知海運産業㈱ ◎トヨタ自動車㈱田原工場 ◎アイシン AW㈱田原工場
- H18.1.12 田原臨海企業懇話会役員会へ出席
◎担当者会議開催の概要説明
- H18.1.19 企業防災担当者打合せ会開催（田原臨海企業懇話会主催）
◎基礎知識、田原市の被害予測・防災体制、企業防災のあり方について
- H18.4.27 田原臨海企業懇話会役員会へ出席
臨海企業災害時連絡網（案）の提案、ワークショップ開催の提案
- H18.5.23 トヨタ自動車㈱田原工場実施の防災訓練参加
◎通信訓練（周辺道路等の被害状況連絡や蔵王山防災カメラから三河港大橋の視認確認、豊橋市も協力）
- H18.7.29 トヨタ自動車㈱田原工場から依頼の防災研修（社宅・寮生対象）開催
◎防災基礎講話及び図上訓練（社宅・寮ごとのグループ分け）、ボランティアについて、起震車乗車体験 75名出席（寮60人、社宅15人）
- H19.5 臨海部立地企業の操業環境並びに企業防災体制に関するアンケート実施
（5/14～31）対象：56社、回答：42社（回収率75%）
- H19.11.1 田原臨海企業懇話会役員会へ出席
アンケート結果を報告
- H19.12.7 臨海企業防災担当者打合せ会開催（田原市役所6F講堂）38社45名出席
◎防災センター説明、◎企業防災体制に関するアンケート結果報告
◎企業防災に関する今後の取組について説明
・地震防災対策事例集、災害時連絡網、防災マニュアル作成の手引き、ワークショップ開催について
- H19.12 臨海企業防災担当者名簿作成
- H20.3.19 第1回企業防災力向上ワークショップ開催（33社44名出席）
◎徒歩帰宅支援ルートマップの作成
◎災害時連絡網について（作成）
- H20.5.27 通信伝達訓練（Bエリア）実施（11社参加）
◎災害時連絡網を使用した訓練

- H20. 7. 30 第2回企業防災力向上ワークショップ開催（25社33名出席）
 ◎災害時連絡網を使用した訓練について
 ◎各社所有資機材を活用した災害時初動対応について
 ◎安心安全ほっとメール登録依頼
- H20. 10. 31 通信伝達訓練（対象：64社、返信44社（連絡は全社に行われた））
 ◎約40分で伝達完了
- H21. 3. 17 第3回企業防災力向上ワークショップ開催（33社41名出席）
 ◎童浦地区（田原市臨海部隣接地域）との意見交換
 ◎災害時に心配されること（童浦地区・臨海地区）
 ◎童浦地区・臨海地区の相互連携手法について検討
- H21. 8. 5 第4回企業防災力向上ワークショップ開催（36社38名出席）
 ◎臨海地区災害時帰宅支援ルートマップについて
- H22. 4. 26 企業防災講演会（田原市役所6階講堂）（32社42名＋市役所10名出席）
 ◎演題「三河湾の高潮・津波にどう備えるか？」
 講師：豊橋技術科学大学建設工学系海岸工学研究室教授
 ／高専連携室長 青木伸一氏
- H22. 9. 1 第5回企業防災力向上ワークショップ開催（34社35名出席）
 ◎演題「災害被害の軽減～阪神淡路大震災の現場などから感じた消防署の限界～」
 講師：田原市消防本部 田原消防署 署長 寺田幸弘
 ◎防災ラジオの購入促進について
 ◎田原市役所企業立地推進室からの配信メールについて
- H23. 3. 28 情報伝達訓練の実施（全67社）
 ◎午前8時に海溝型地震が発生したことを想定し、新情報伝達網（A・B・C・Dブロック別）に基づき、企業防災メールにより情報伝達訓練を実施。併せて、デジタル無線による情報伝達訓練も実施
 ◎情報内容→地震の規模・想定被害、避難情報（避難場所・道路情報・ルート等）
- H23. 8. 29 平成23年度第1回企業防災ワークショップ
 ◎「津波から人命を守る～協働と共助による防災対策」
 講師：田原市消防本部 危機管理監 大根義久
 ◎ワークショップ「地震・津波避難計画の作成」
 ・避難先（一時避難場所）・避難経路等の避難計画図面の作成
 ・各自持参した避難経路をエリア毎に1枚の図面にまとめる
 ・避難先、避難経路の安全性・機能性について検討する
 ・課題の抽出、意見発表、質疑等
- H23. 9. 28 平成23年度第2回企業防災ワークショップ
 ◎各社の一時避難場所と避難経路について確定
 ◎避難時における共助支援、帰宅困難者の対応策と童浦校区との連携業務検討

- H23. 10. 13 地元童浦校区との打合せ・調整
 ◎童浦校区と田原臨海部立地企業の防災に関する意見交換会を実施
 ◎田原臨海部立地企業の一時避難場所と避難経路についての合意形成
 ◎協力業務についての検討
- H23. 11. 13 市内一斉自主防災訓練への参加
- H23. 11. 8 トヨタ自動車田原工場避難訓練
 ◎午後 2 時から、午後 9 時 40 からの 2 回に分け、昼夜間の避難訓練を実施
 ◎延べ 5, 200 人参加(避難場所は各工場内の門付近まで集合、一部が笠山までの避難ルート確認(各 200 人))
- H24. 9. 28 平成 24 年度第 1 回企業防災ワークショップ
 ◎南海トラフの巨大地震による津波高・浸水域の報告
 ◎災害リスクへの対策検討
 ◎愛知県津波地震防災訓練の訓練実施計画について検討
- H24. 11. 10 平成 24 年度愛知県・田原市津波・地震防災訓練(27 社 309 名参加)
 ◎情報伝達訓練、避難訓練・誘導訓練、帰宅支援対策等
- H24. 11. 10 平成 24 年度第 2 回企業防災ワークショップ(50 社 70 名参加)
 ◎演題：「会社の被害と避難」
 ・講師：むすび塾 垣上睦享さん(宮城県多賀城市)
 東北電機製造株式会社勤務
- H24 年度 ◎避難マップ・帰宅支援ルートマップ改正・配布(2.5 万枚)
 ◎防災行政無線子局整備(トヨタ自動車社屋、アイシン AW 社屋、東京製鐵(ホール)、田原 2 区)
 ◎技科大石田教授による避難シミュレーションの作成
 ◎その他、防災カレッジへの参加、代表幹事会の開催、その他防災講演会等への参加等
- H25. 7. 18 代表幹事会の開催(トヨタ・アイシン・東京製鐵・愛知海運産業)
 ◎南海トラフ巨大地震に関する情報提供
 ◎豊橋技術科学大学石田教授の研究成果(避難シミュレーション)
 ◎平成 25 年度の事業計画等
- H25. 10. 10 代表幹事会の開催(トヨタ・アイシン・東京製鐵・愛知海運産業)
 ◎平成 25 年度田原市企業防災ワークショップの開催検討
 ◎津波避難訓練の実施の検討等
- H25. 9 避難訓練の実施(各社毎)
 ◎計 23 社、13, 873 人が参加実施
 ◎通信訓練、避難訓練、救護・消火・救助訓練等を各社で実施
- H25. 11. 21 平成 25 年度第 1 回企業防災ワークショップ(40 名参加)
 ◎避難所運営ゲーム(HUG)の実施
- H25. 12. 11 代表幹事会の開催(トヨタ・アイシン・東京製鐵・愛知海運産業)

- ◎一時滞在場所の検討
- ◎第2回ワークショップの開催検討

- H25.12.25 災害時における帰宅困難者対策の更なる充実に向けた調査の実施
- ◎一時滞在施設調査→企業が保有する寮・アパート等(市内及び近郊に立地)や、自社社員等が常時利用しているスペース、空スペース等の調査
 - ◎一時滞在者数調査→災害時に自社に留まる必要がある社員数と、その場所の確保に関する調査
- H26.2.6 平成25年度第2回田原市企業防災ワークショップ
(参加者：企業54名、職員67名)
- ◎第1部「名古屋国道事務所における道路防災について」
講師→中部地方整備局名古屋国道事務所 板倉所長
 - ◎第2部「災害に強いものづくり中部の構築」
講師→中部経済産業局地域経済部地域振興課 田島課長
- H26.9.12 平成26年度第1回代表幹事会開催(代表幹事4社)
- ◎愛知県の被害予測調査について
 - ◎避難勧告等の基準について
 - ◎H26年度の事業計画の確認について
 - ・滞在者対策の推進(企業版「避難所」の設置)の検討
 - ・訓練等の実施(一斉訓練・個別訓練)
 - ・人材育成
 - ・その他笠山防災公園の整備、帰宅支援ルートマップの修正・増刷等を検討
 - ◎企業防災の位置づけについて
 - ・当会を「田原臨海企業懇話会防災部会」とする。→9/16の役員会において承認